



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年1月29日 第68号

発行者：校長 伊藤 俊

試験の季節 ～3年生定期考査 私大受験 前期選抜～



〔1月23日朝3年生試験前作成の雪だるま〕

1月23日(火)は予報どおりの大雪となりました。仙台と石巻の降雪量は18センチで内陸の古川の12センチよりも沿岸部が多い、いわゆる南岸低気圧による大雪でしたが、前日に始業時間を9時半からに遅らせる処置をとりましたので大きな混乱もなく、予定どおり3年生最後の定期考査を無事行いました。

中庭には恒例の3年生作の雪だるまの姿もありました。3年生はこのあと、今月末から私立大の受験が始まりますし、西高でも31日(木)に82人の中学生が前期選抜に挑みます。寒い季節は試験の季節。その先に春が待っています。3年生の皆さんはあと少しです。最後の最後まで西高生らしく粘り強く挑戦してください。

働く目的、やりがい ～1年生「職業人インタビュー」2年生「未来への絆」～



〔1年生職業人インタビュー〕



〔2年生防災教育副読本未来への絆〕

1年1組がインフルエンザによる学級閉鎖でしたが、残る4学級で1月23日(火)総合的な学習の時間において、「職業人インタビュー」が行われました。講師に石巻学校事業 ishinomaki2.0の社会人と学生の方々をお招きし、働くとはどういうことかを事前に振り分けられた15のグループごとに話し合いました。大学生や社会人の方々との対話やインタビューを通して、進学先の先にある働くことの目的や、やりがいを実感し、職業観を見つめ直すいい機会でした。この試みは2月6日(火)にも2時間連続で行われます。

2年生は県教育委員会作成の防災教育副読本「未来への絆」を使用し、東日本大震災からの復旧・復興に対して多くの人と関係個所が関わっていることを再認識し、法の整備とともに主に行政の取組について学ぶとともに、まだまだ復旧・復興の途上であること、直接の職業ではなくとも、自分達一人一人がこれからの復旧・復興に様々な形で関わっていけることを確認するいい機会でした。

まだ、将来の職業を見つけられずに悩んでいる皆さんもいると思いますが、高校生活は自分探しの旅みたいなものです。今回の学習も参考にしながら自分を探してみてください。宮城の復旧・復興には皆さん一人一人の力が必要なのです。

京都府立東稜高校来校～西高アクティブラーニング～



〔授業を参観された東稜高校の先生方〕

本日1月29日(月)本校のアクティブラーニングや国際高校生フォーラム等の防災教育への取組を視察に、京都府立東稜高校2名の先生方が来校されました。東稜高校は近い将来国際理解教育や防災教育に力を入れる新コースの設置を予定しています。アクティブラーニングを導入して授業改善による学校づくりを目指すということで、西高をモデル校にわざわざ来校してくれました。鎌田先生の日本史と湯口先生の生物の授業を熱心に参観されました。最後に防災主任の及川先生からの説明まで本当に何かを学ぼうという熱意が感じられました。この模様は取材にこられた石巻河北新報に掲載予定です。

1月31日(水)、2月1日(木)は高校入試のため、自宅学習日となります。インフルエンザが流行していますので、不要不急の外出を避けて、二日間しっかりと家庭で学習して下さい。